

きぼう

明石市立大久保北中学校 第2学年
学年通信第104号(204)
令和2年3月24日(火)

わが実力の不十分なることを知るこそ、わが実力の充実なれ。

学校ホームページ URL : http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/

第33回 卒業式 送辞 生徒会副会長

令和元年度 在校生 送辞

新しい草木が芽生え始め、だんだんと春の訪れの感じられる頃となりました。この佳き日に、大久保北中学校を巣立っていかれる三十三回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

二年前、私たちは大きな期待と同じくらい大きな不安を抱き、この大久保北中学校での第一歩を踏み出しました。その時から先輩方は常に私たちに優しく接して下さいました。私たちの憧れで目標となる中学生像を先輩方に教わりました。

新入生歓迎会での合唱では、先輩方の声量や技術、響きに圧倒されました。これが大久保北中学校の合唱だというものを感じる事ができ、その伝統を引き継ぐんだという意識をもつことができました。体育大会では、係の活動で、リハーサルで自分の仕事もこなしつつ、分からないことだらけの私たちに理解できるまで丁寧に教えて下さいました。「リハーサル通りにすればいいよ。本番でミスしてもフォローするから一緒にがんばろう。」と声をかけていただきました。そのおかげで本番ではミスすることなく仕事を終えることができました。

また文化祭では私たちも先輩方の合唱に少しでも近づけるように練習していましたが、やはり先輩方の合唱はすごく、深く感動しました。来年は、私たちが先輩方の合唱を聴いて感じたことを後輩に感じてもらえるように、たくさん練習を積み重ね、しっかりと大久保北中学校の伝統を引き継ぎます。

今先輩方は、たくさんの思い出の詰まった母校を離れる寂しさ、そして新しい道へと向かう不安と期待といった様々な思いを抱いていらっしやることと思います。新しい環境では、戸惑うこともあるかと思いますが、先輩方がこの北中で経験したことがきっと支えとなるでしょう。

今まで本当にありがとうございました。先輩方との出会いに感謝し、これからそれぞれの道で活躍されることをお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和二年 三月十日 在校生代表

